

以下、本文

口腔扁平苔癬の病態形成における細胞老化の関わりについての研究

1. 研究の対象

2019年4月～2023年3月の期間に当院歯科口腔外科にて口腔扁平苔癬の臨床診断下に口腔粘膜の生検（患部の一部を切り取って、顕微鏡などで調べる検査）を受けた方および同期間に口腔粘膜の線維腫の診断をされて腫瘍摘出術を受けた方

2. 研究目的・方法

口腔扁平苔癬(OLP)は完治しにくい慢性炎症性疾患であり、時に癌化することもあります。その原因は未だ明らかになっていません。従って、現在のところステロイドを中心とした薬剤による対症療法が行われていますが、これらの治療が効かない症例も多数あります。近年、DNA損傷ストレスが細胞を老化させ、老化状態に陥った細胞がサイトカイン、ケモカインなどの生理活性物質を分泌することにより慢性炎症が引き起こされることが明らかとなってきています。そこで、本研究ではOLPにおいて細胞老化が関与するのかを明らかにするため、OLPと線維腫の口腔粘膜の生検組織を用いて細胞老化関連分子の発現を免疫組織化学的に比較検討します。さらに、細胞老化関連分子の発現が、年齢、性別、ステロイド治療効果などと関連があるかどうか検討します。研究期間は倫理委員会承認日より2024年3月31日の間です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテ番号、年齢、性別、臨床型、病悩期間、ステロイド治療効果など

試料：生検組織

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

国立高知大学大学院医学系研究科 歯科口腔外科学講座

研究責任者：笹部衣里

088-880-2422

-----以上